

御宿町 橋梁長寿命化修繕計画

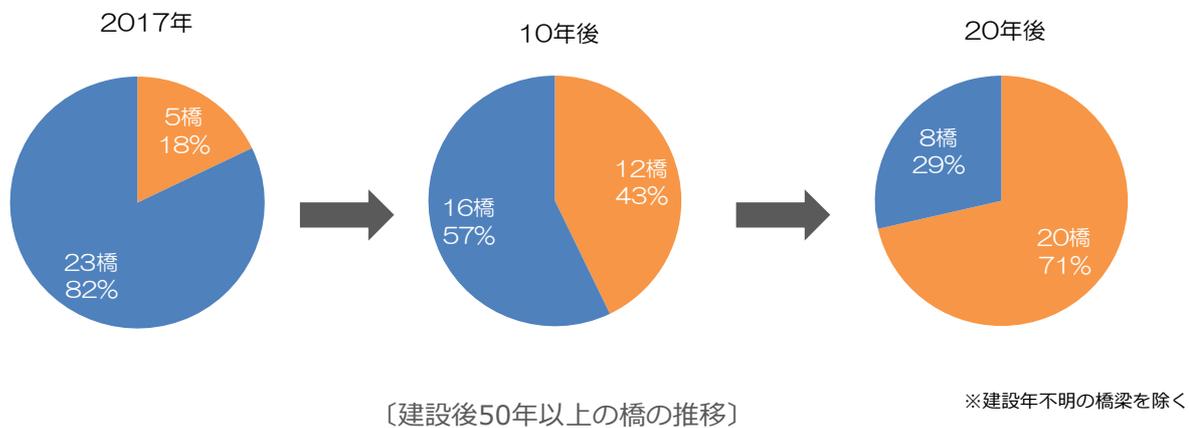
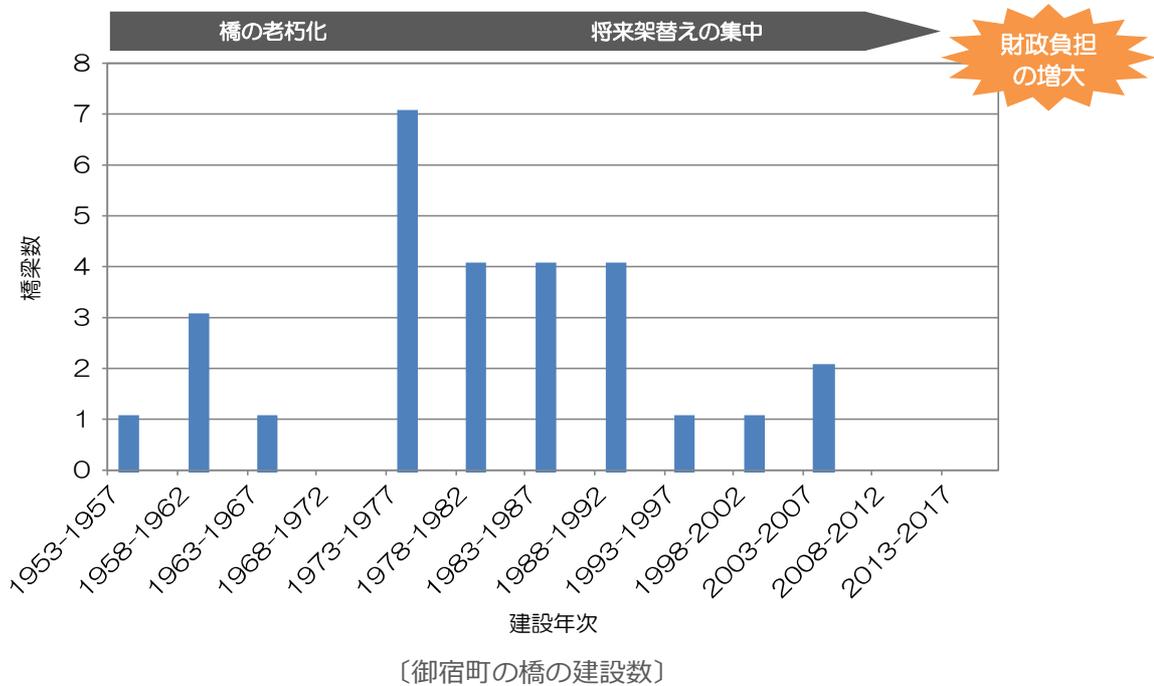


平成30年 月

御宿町 建設環境課

1. 橋梁長寿命化修繕計画の目的

御宿町は現在90橋の橋梁を管理しています。これらの橋は今後、老朽化し、架替えによる財政負担が大きくなることが懸念されています。計画的かつ予防的な修繕を行うことで橋の長寿命化を図り、老朽化する橋の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行うことを目的とします。



2. 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

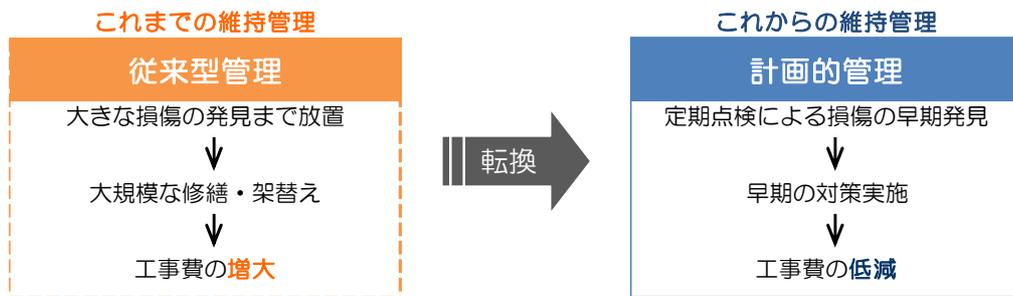
橋梁長寿命化修繕計画の対象とする橋は、御宿町が管理している全ての橋としています。

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
橋梁長寿命化修繕計画対象の橋梁数	18	10	62	90

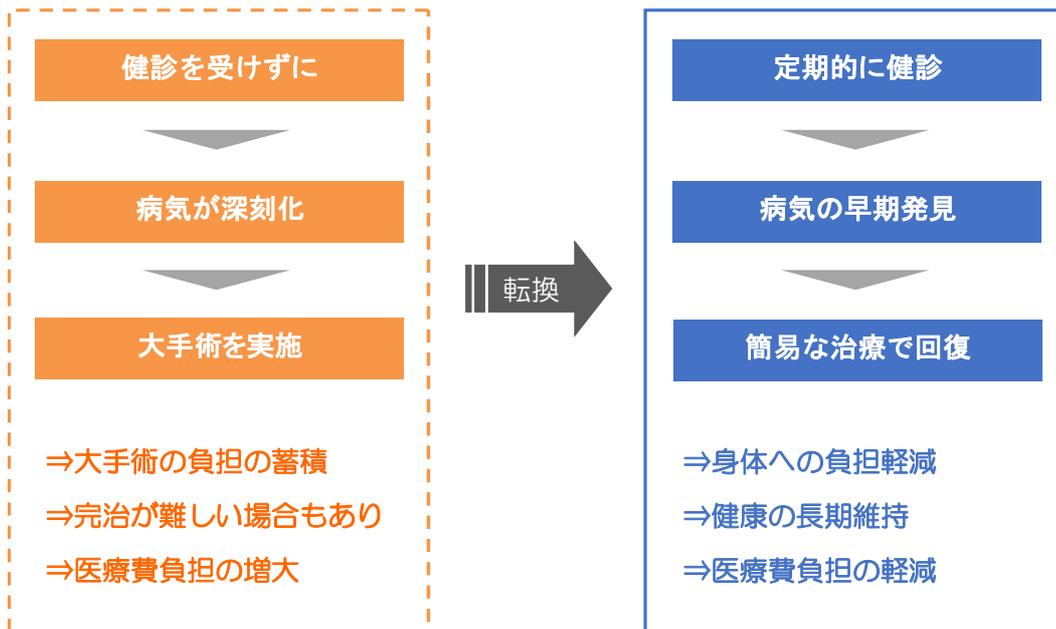
(橋)

3. 橋梁長寿命化修繕計画の内容

- 御宿町では、平成28年度に橋の点検を行い、今後も5年間隔で点検を行うことで安全確保に努めています。
- 点検結果より、橋の健全性の評価を行い、交差条件や路線の状況等に応じて橋の重要性を定め、計画的な修繕が行えるよう優先順位を決めます。
- 橋の損傷が深刻化してから大規模な修繕や架替え更新を行う対症的な**従来型管理**から、損傷が深刻化する前に計画的な修繕を行う**計画的管理**へ転換し、橋の長寿命化を図るとともに、修繕に係わる費用の縮減を図ります。
- 一定期間の橋の維持管理にかかる費用であるライフサイクルコスト（LCC）の試算を行い、計画的な維持管理へ転換した場合の効果を確認します。



◆ 人間に例えると・・・



【これまで実施した橋梁補修工事の例】

■コンクリートの補修



実施前

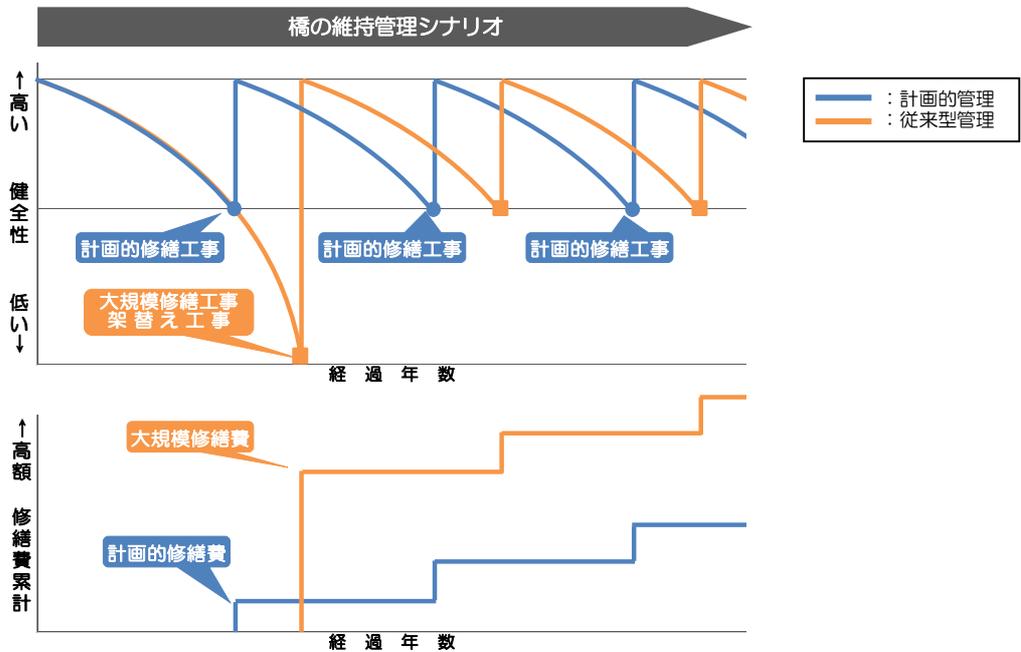


実施後

4. 橋梁長寿命化修繕計画による効果

【安全性の確保と橋の長寿命化】

- 橋の損傷が深刻化してから修繕や架替え更新を行う従来型管理の橋は、大きな損傷が発見されるまで放置されるため、危険な状態が続きます。
- 計画的な修繕を行う管理に転換することで、**安全性の確保と橋の長寿命化**が図れます。

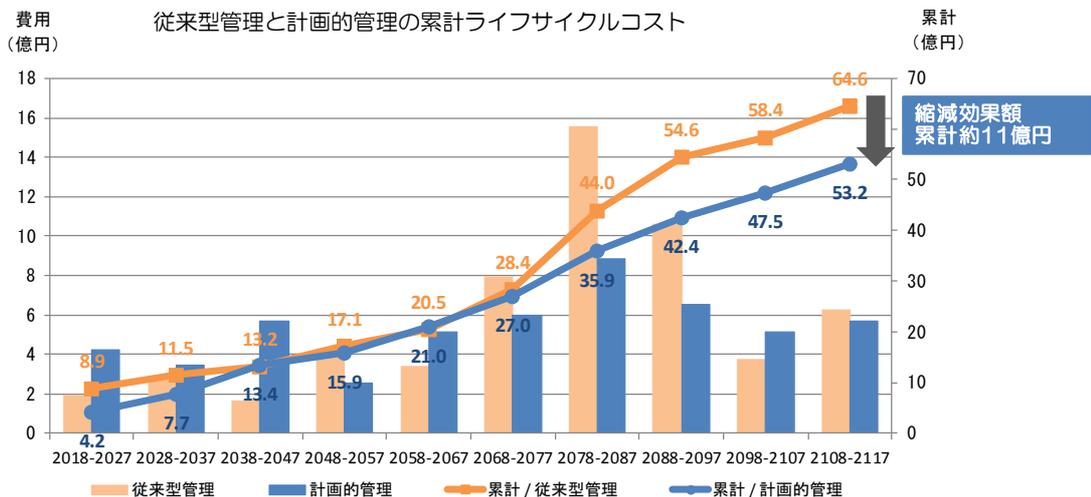


【予算の平準化】

- 対症療法的な従来型管理では大規模な修繕・架替え更新を行うため、単年度の事業費が大きくなります。計画的な管理により修繕を行うことで、**予算の平準化**が図れます。

【ライフサイクルコストの縮減】

- 今後、100年間を対象としたライフサイクルコストの試算では、計画的な管理の累計額と従来型管理の累計額の差は約11億円になり、非常に大きな**縮減効果**が見込めます。



5. 助言を頂いた学識経験者

- 学 識 経 験 者 日本大学 理工学部 交通システム工学科
 峯岸 邦夫 教授

日本大学の峯岸教授に「御宿町橋梁長寿命化修繕計画」の妥当性についてご意見をいただきました。

計画策定担当部署

御宿町 建設環境課 TEL 0470-68-6694